

ブラウンハイム
30周年記念誌

BROWN HILM





ブラウンハイム 30周年記念誌 発刊によせて

ブラウンハイム30周年記念行事
実行委員会委員長
原 拓勇

昭和53年夏、ブラウンハイムが竣工し、入居を開始して以来、早くも30年を迎えることができました。その間、歴代の管理組合理事、自治会役員、各委員会の委員の皆様を始めとして、住民の皆様のご協力、ご支援のお蔭と心から感謝申し上げます。30年前のブラウンハイム周辺は、工事中の為、樹木もほとんど見当たらない砂漠のような場所でした。現在のように樹木が生い茂る素晴らしい環境とは比較が出来ない変わりようで、今の子供達には信じられない景色でした。管理組合としては、駐車場増設を初めとして外壁改修工事、屋上防水工事、給排水改修工事、舗装改修工事などの建物および設備の維持管理のために種々の工事をメンテナンス委員会、駐車場委員会のメンバーと共に居住者の協力を得て一生懸命努力しました。自治会としては運動会、文化祭、夏祭り、餅つき大会などの行事を会長を先頭に役員、会員が努力された成果が今日のブラウンハイムである事を忘れてはならないと思います。又、30年という月日を経て、一緒に街づくりに励み、汗を流した先輩、同僚の何人かが鬼籍に入られました。改めてご冥福をお祈りし、感謝を捧げたいと思います。これからのブラウンハイムは高齢化に対する対応、災害に対する対策等重要な課題が山積していると思います。安全で安心して暮らせる街、いつまでも住み続けたいブラウンハイムにする為に住民の皆様と一緒に協力して行きたいと思います。最後になりましたが、ブラウンハイム30周年記念誌発行のためにご協力頂きました関係者の方々、又ご努力頂いた編集委員の皆様へ厚く感謝致します。住民皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

平成20年9月



平成20年(2008)4月27日(日)
於:横浜テクノタワーホテル

【出席者】

- 田中 日出男 (第1期自治会長)
- 三瀬 光一 (第21期自治会長)
- 続木 暉康 (第31期自治会長)
- 小野 潤彌 (第9期管理組合理事長)
- 稲村 徹 (第10期管理組合理事長)
- 佐藤 修生 (第22期管理組合理事長)
- 原 拓勇 (第30期管理組合理事長)

【司 会】

- 福永 哲夫 (第7期・第28期管理組合理事長)

※オブザーバー参加=30周年記念誌編集委員

- 木内 志保子/境野 敏弘

順不同 敬称略



田中 日出男
(第1期自治会長)

座 談 会

ブラウンハイム30年のあゆみ

管理組合・自治会が スタートしたころ

司会 きょうはお休みのところ、お集まりいただきましてありがとうございます。司会を務めさせていただきます。福永です。

きょうは、自治会、管理組合の役員経験者の方々にお集まりいただきました。これまでの30年にわたるブラウンハイムのあゆみについてお話

をうかがい、新たなブラウンハイムの住環境整備等への資として次の世代の方へバトンをつないでいきたいと思えます。

自治会が発足した昭和53年10月頃の金沢シーサイドタウンは、交通のアクセスは富岡駅へ歩くか、新杉田駅へのバス利用でした。バスは時間が不定期で困りましたね。雨が降ったら長靴を履き、車で短靴に履き替える。商店もあまりなく、樹木の緑も少なく、まるで砂漠という印象でした。しかし、いまは樹木は生い茂り、シーサイドラインという便利な

交通機関もでき、近くに相鉄ローゼン、東急ストア、ジャスコと買い物に便利な住宅街へと発展してきました。そこで、まず第1期ブラウンハイムの自治会長をやられた田中さん、当時のエピソードをおうかがいしたいと思います。

●自治会発足時のハプニングも「今は昔」

田中 自治会設立時は、会長、2名の副会長、書記、会計を決め、最初に204戸の情報連絡の徹底のために、各階段から階段委員21名を選び

ました。これで体制が整いました。市の広報配布が最初の仕事でした。次に住宅取得に関わる減税申告を初代管理員の協力を得て、管理事務所で行いました。天気のいい日でした。3年の減税額も大きかったので、皆さんには喜んでもらいました。市からはキッチン道具の贈呈があり、けっこうな高級品でした。このあたりで自治会役員と階段委員の顔つきができてきましたね。

次は、自治会会則の制定です。準備委員会の作った案をもとに役員が検討したのですが、1項目を入れる入れないで難航しました。それは「政治的、宗教的、営利的行為を行わない」という内容で、ある方からこの文言が入ったらいろいろな動きができないという申し入れがありました。しかし、自治会四役は譲れないという事で通してもらいました。この1項は30年経った今も残っています

ね。

昭和54年8月に台風が来たところ、風呂の給湯器が消えたのです。私のところにどんだん電話で「どうするんだ」。管理員さんに奮闘してもらって、全部パワーの強い風呂釜に替えました。階段委員にもフルに動いていただきました。その後、ダニ事件です。書記、階段委員、そして各棟から選出された管理組合理事8名も加わって対策を練りました。ダニの発生は全戸ではなかったのですが、管理組合が豊業者と折衝して大がかりな畳替え。あのループ道路にずらつとトラックが並びました。壮観でしたね。

10月か11月にループ道路のブラウンハイム側に街灯をつけてくれという要請が住民から出ました。実際、富岡駅からはブラウンハイムへの道は真つ暗なんです。私と書記が金沢区役所に行き状況を説明し、年内には街灯をつけてもらいました。

司会 自治会準備委員会、自治会発足までの動きはいかがでしたか、三瀬さん、お願いします。

●「役所などへの関わりで必要なんですよ」と指摘されて

てカークラブも認知されていき、駐車場増設が決められることになりました。(編集部注：昭和55年に駐車場暫定措置案が否決され、58年に駐車場問題委員会発足、翌年同委員会より76台増設答申、61年に83台増設が決定)
司会 私もその後、金沢シーサイドタウン連合自治会の事務局長として派遣され、みなさんのご努力のもとに金沢シーサイドタウンから違法駐車がなくなくなっていきます。素晴らしいことですが、三瀬さんも携わっていられたと思います。



三瀬 光一
(第21期自治会長)

●「不満分子」が夜の酒場で良策(?)を練る

三瀬 駐車場問題対策委員会を自治会ですつくりました。今考えると変な話ですが、ずいぶんもめにもめなりました。違法に止めるのはけしからん派と、駐車場がないのだからしょうがないだろ派。それで一部の不満分

三瀬 管理組合理事長は高橋さんという方で、もつとも動かれていた方は、21・1・105の中町さんという方です。すでに各棟には理事1名がいました。7月か8月(年表は9月)

に並木第一小学校でブラウンハイム管理組合が設立されましたが、当時理事になられた方も管理組合と自治会の区別もはっきりないし、ほかの住民からも自治会の話はありませんでした。ところが、住民は住めば当然、役所等との関わりがあつて自治会や町内会が必要になると役所から言われ、そこで自治会の準備委員会をつくってもらいたいということ、棟集会のようなものを開きました。20街区が2回、21街区が1回だったと思います、そのときに手を挙げたのが私も含めて数名、加藤武さん、亡くなった清水さん、佐田野さん等、それでスタートして、佐田野さんが自治会長の田中さんにお持ちした自治会会則は準備委員会ですつくりました。

会則の「1項目問題」は、当時、高速湾岸線建設反対の運動が起つていて、ブラウンハイムに住まわれていた方が活発にされており、自治会ではそういった運動に巻き込ま

子が夜11時くらいに一杯やりながら、駐車場はどうしても必要だと盛り上がった。加藤さんが中心に福永さんですね。福永さんは当時、駐車場があるのに駐車場増設を一生懸命やっている立派な人だ。(笑い)
田中 夜11時ごろにね、21街区西側はトタン扉でしたが、そこに呼び出されて駐車場増設反対の人から「責任とるのか」と1時間ぐらいいしごかれたことがあります。(笑い)
司会 続木さんは駐車場の運用規則、使用細則を作成されましたが、当時と現在の状況との違いはいかがでしょうか。



続木 暉康
(第31期自治会長)

●賛否両派一触即発の危機の渦中でルールづくり

続木 ルールづくりは駐車場問題に詳しい住谷さん、福永さんからのアイデアを文書にしただけにすぎないのですが、カークラブは駐車場をつ

れることを危惧して、「政治、宗教、営利」とはまったく関係ないかたちでやろうと、田中会長もよその団地の情報なども加味して、その一文を入れたと思います。

ブラウンハイム 揺るがせた 駐車場増設問題

司会 管理組合では、竣工当初から違法駐車問題を抱えていました。もともとは横浜市のデベロッパに対する行政指導に問題があつたのではないかと状況ですが、違法駐車がクローズアップされて共有地内に駐車場増設の動きが起きました。入居当時からカークラブをつくって駐車場増設を考えられてきたお一人である稲村さん、お願いします。

●駐車場増設に願いをこめて

カークラブ設立する
稲村 入居当時から駐車場が少なかったこと、もう一つは車社会の進展、そしてわれわれ若い者でも車を持つようになったことから、陸の孤島

なくて、このままの状態の道路ではないのですかという、広い目で将来を見据えての話がかなりあつたと思います。メンテナンスでお金がかかるよ、ではお金が管理組合に入るようなルールにしたらというアイデアも、福永さんと住谷さん、清水さんからありました。私は、そのルールづくりのお手伝いをさせていただきました。

小野 駐車場ルール、細則をつくつたときの画期的なのは輪番制をきちつとやって、公平に駐車場を利用する権利がみなさんに順繰りに回ってくる状態を確保できたこと。当時の細則がうまく設定されたと思います。
続木 皆様の努力によって、来客用になつていくというのは、隔世の感があります。

30年の展望開いた 長期修繕計画と これから

司会 昭和57年10月にメンテナンス委員会が8人で発足しています。小野さん、長期修繕計画をつくるにあ



境野 敏弘
(オブザーバー)

になりつつあつたこの地で車所有者が増えていきました。ところが、駐車場が少ない。スペースがありませんたので、そこを駐車場にしようという話を持ち上がりました。私は子どもが小さかったので遊び場の関係でやめてほしいという気持ちがありましたが、目につく違法駐車と、私も車が必要になる状況となり、自治会や管理組合の総会でずいぶん話し合いました。

しかし、なかなかできなかった。それでカークラブをつくって再度の取り組みをし、駐車場暫定措置案は管理組合総会で賛否同数になりましたが、理事長の判断で「許可しない」と否決されました。

この後、カークラブのメンバーは長い間、並々ならぬ努力をしました。車所有者にオイル交換やブレーキオイルの点検、メンテナンスなどをみんなやって、このPRが功を奏し

たつてはいろいろご苦労があつたと思います。

●「長期修繕計画」は先達の
人たちが築いてくれた財産

小野 メンテナンス委員の清水さんがつくってくれた「25年間の長期修繕計画」が、非常に良くできて、そのころからすでにインフレ等を勘案すると、修繕積立金が不足することが予想されていました。すぐに管理費の値上げをするよと言ったらだれも承知するはずがないので、長期修繕計画に基づいた資金繰り計画を練り、管理費の値上げスケジュールもつくって、皆さんに説明しようというので、その提案をやりました。現在修繕積立金は1万5000円ですが、当時の倍以上ですね。これを皆さんに了解してもらいました。これがうまくいったお陰で、最初の外壁等改修工事及び屋上防水工事は、本来10年目ぐらいでやるのを躯体検査等で時間稼ぎをして積立金を増やし、1回目は15年目、平成5年でした。積み立てたとはいえ、それでも不足していたので管理組合が金融公庫から借金するという初めての経験もしました。



木内 志保子
(オブザーバー)

長期修繕計画の基本は、清水さんがつくってくれたものがベースになっています。その後、日本経済が低迷しているおかげでインフレがあまり進行しなかったため、現在、当時の見積金額がそのまま使える状況で推移しています。もちろん、若干の修正は当然ありますが。

25年長期修繕計画当時は30年経ったら建て替えるという常識が世の中に蔓延していました。ところが、実際30年を迎えてみると、とんでもない話です。平成18年に行った給排水給湯設備改修工事では若干借入れをしましたが、基本的には修繕積立準備金が積み立てられていたので、それほど大規模な借金をしませんでした。

三瀬 役員交代の総会時に「一点と点の活動は今までやってきたけれど、これを線にして面にしなければならぬ。そういう組織が必要」という

話が出て、福永さん、加藤さん、清水さん、石川さん、谷さん、蔵岡さん、住谷さん等、錚々たるメンバーがいました。蔵岡さんや清水さんはでかい模造紙を買ってきて、30年間の表をつくって、ここで破綻するおそれがあるとか、危機感もつてやっていますね。それが駐車場問題にもつながっていったんですね。

佐藤 平成11年、私が管理組合の理事長をしていましたが、メンテナンス委員会には感謝しています。清水さんの功績大と聞いていましたが、長期修繕計画があつて非常に助かりました。

司会 原さんは現在の管理組合の理事長をされていますが、現在の仕組みはいかがでしょうか。



原 拓勇
(第30期管理組合理事長)

三瀬 これから30年を見据えた管理組合・自治会活動を原 前に住んでいたところでも自治会の副会長をやった経験もありまし

たので、自治会は参加したいという気持ちはありません。でも、自治会をやるまではないですね。1年やって、顔見知りもでき、いろいろな活動に参加しています。ですから、新しく入ってくる方にもぜひ参加していただくと、長くつながっていくと思います。

で活躍された三瀬さん、いかがでしょうか。
●30年前はどこかく何かをしようとしていた
三瀬 活躍というより、当時一番私がかつたからです。当時は、みんな30代です。写真を見ると、奥さんはまあ女子高生のような笑顔です。家内は「何かおかしくて笑っていたのだらう」というくらい、御神輿のときもそうですが、とにかく何かしようとしていましたね。会社も面白い、団地に帰ってきて、土日じつとしていられなかった。何かやろう、子どもがたくさんいるから運動会をやろう。ブラウンハイムだけで運動会ができて、その後、集会場の裏で反省会と称して盛大な宴会をしていましたね。そのうち、子どもが少なくなっていく、4自治会でやることになり、それも立ち消えになってしまったという、まさに少子高齢化を絵に描いたようなあゆみですね。

住民と住民をつなぐ自治会活動の広がり

司会 自治会行事の主なもの、夏祭り、冬季交流会(餅つき大会等)、かつては盛大に行われていた運動会、文化祭があります。運動会はブラウンハイムだけで4組をつくって競技をしていました。その後、第三住宅、さざなみ、センターとの合同となり、ブラウンハイムを含め四つの自治会で盛大なものになりました。運動会

最近では行事をしようとしても参加者が少ない。一つは関心がなくなってきたこと、高齢化、そして魅力あるイベントを打ち出せなくなった

高齢化を迎えて防災対策をどうするか

司会 ブラウンハイムでは昭和56年という早い時期に第1回の防災避難訓練を行っています。いま高齢化が進み、大地震も想定されています。これから、どのように考えていけばよいでしょうか。

小野 防災訓練で欠けているのが緊急集合です。いま、いざ何かあっても、だれもこないでしょう。この訓練の徹底も必要です。
三瀬 ブラウンハイムの敷地のなかでどこが安全なのかまだ分かっていません。被害対策本部などを設置して、その役割もまだ決まっています。早くつくることがですね。



稲村 徹
(第10期管理組合理事長)

司会 立派な御神輿と山車がありますが、みんながつくったものですが、現在の「御輿保存会」会長の稲村さん、当時のお話をうかがわせてください。

●徹夜もやり、飲み会もやって盛り上がった御神輿と山車づくり

稲村 初代は私ではなく、加藤武さんでしたが、彼が職業上木材を扱っていることから御神輿をつくりたいという話をもってこれ、「俺がつくるから」と彼が自費でまかなったような御神輿と山車ができあがりま

した。お祭りの日の朝6時にブラウンハイムに持ってきて、それを組み立ててみんなで引き回しましたね。徹夜もやり、飲み会もやりながら非常な苦勞、集中力、そして協力を得て御神輿と山車ができたんですね。二台目の御神輿は、他の団地からあまったものをいただきましたが、それも装飾をつけたりで大きなものにしていただきました。一台目はいい木を使ったためか、そうとう重い。大人がかつけない。(笑)毎年、二台出していました。昨年、一台のときもあり、少子化と高齢化が影響している現状になっています。
三瀬 63年8月14日に富岡八幡宮の宮司さんに来てもらって御霊入れをしたのですが、集会場だけでは道具が足りなくて間に合わないということで加藤木工さんに私と数名で行って、その日の朝までかかってやりました。清水さんは眠りながらやっています。足の指をノコで轆いて血が出ているのだけれど、「おい」といわれるまで気がつかない状態で、寝不足と酔っぱらいでやっていましたね。

三瀬 防災管理委員会はこれから重要になりますね。エレベーターをつけても大規模な災害があつたとき、私たちは確実に年齢が高くなっているから、どうやって助け出すが大切になります。自分の家族を避難させるとか、こういう場合はだれに声をかける、こういう場合はどう逃げるとか、シミュレーションを何回もやっておかないと、実際に起きたときにできないのです。高齢者を念頭



小野 神戸の地震のとき、支援に行きました。グラビア印刷機はものすごく重いのですが、歪んで使いようにならなくなっていましたね。それほど激しい。

続木 ピアノの跡が天井についていたと聞いています。想像できないほどの被害に見舞われるので、対策を立てておきたいですね。

小野 関東大震災のとき、お袋は倒れていたガラス窓の上を渡ったと話していました。力が出るのですね。不思議ですね。(笑い)

三瀬 まず自分の身と家族の安全、そして隣近所の家を配る、できるのはそこまでです。ただ、2004世帯あるのだから、102世帯がお互いにそういう意識を持つていければ2004世帯は何とかなるわけです。2世帯での協力があれば、さらに1世帯が助かります。

司会 今度備蓄品を用意することになりましたが、これまで管理組合、自治会として用意しなかった理由はそれを頼りにされても非常時を乗り切るにはむずかしいということもあったので、皆さん各自で準備していただくことが重要だと考えたからです。各自の防衛・準備をもっとPR

しなくてはいけないですね。

三瀬 行政の援助が来るまでの3日分の用意は、各自で絶対が必要ですね。うちでは水をペットボトルに入れて、玄関とか部屋のあちこちにおいています。とりあえず、水と食べ物と薬は用意していますね。



小野 潤彌
(第9期管理組合理事長)

小野 顔見知りになることが防災の第一歩です。いま人が入れ変わってきていますので、分かりにくくなっています。「有志の会」をやっていますが、みんなが顔を見知っていて、何かあったら助け合える、頼める体制をつくるのが第一歩だと思います。

自治会の階段委員の任期が来て義務的になるという体制ではなくて、みんながワイワイと出てこれる組織があったらいいと思います。有志の会でアンケートをとったのです。「何かあったらお手伝いできますか」「やれるよ」と応えた人が50人いました。話半分で20人にしても何かあ

ったときに20人はものすごいパワーになります。それがよりどころだと思いますね。

ブラウンハイムの これから — 活カあふれて

司会 一昨年の管理組合の活動で四つのプロジェクトチームを立ち上げてまして、高齢化問題、エレベーターの問題、IT問題など取り組んでいきます。これらの問題、そして自治会への要望も含めてブラウンハイムの活動に期待すること、ご自身がやりたいと思っていられることがありましたら、お一人ずつお話しください。

●みんな元気で互いに支え合って いきたい

田中 行政に関連した福祉等の組織と連携をとり、また連合自治会に働きかけていければと思います。たとえば、地区センターの隣に新しい福祉会館(ケアプラザ)ができましたが、専任の医師が一人来るようになり、けっこう皆さんの評判になって

います。もちろん、ブラウンハイムでもやらなければならぬこともあると思いますが、問題が大きいものですから、地域全体として働きかけることが必要ですね。

小野 入居した当時は子ども中心でブラウンハイムが動いていて、うまくいっていたと思います。いま、まさに子どもがいなくなつて、大人ばかり。しかも大人のなかでそろそろ「後期」と名のつく高齢の方が増えていくような状態になって、それをどうやってまとめていくかが非常にむずかしいと思います。これは自治会、管理組合だけでやれない。むしろ、メンテナン委員会に類するものを自治会が組織していつて、やる人によつてもらう。だれでも義務感なしに参加できる体制ができないものかなと思います。

もう一つは、建て替え問題が新聞に出ていました。私は5階に住んでいます。5階まで上るのがしんどくなる年になってきました。後何年住めるかなと実感として感じています。この建て替えは、これからどうするかを真剣に考えていかなければならないテーマだろうと思っています。



佐藤 修生
(第22期管理組合理事長)

佐藤 60歳をすぎると、仕事をやっていても重職じゃないです。時間はたっぷりあります。ところが、その人たちが出てこない。これは他のところも同じだそうで、自治会に出てくるのはほとんど女性です。自治会に男性が出ていくと、役を押しつけられるので、女性が出ることになりました。仕組み・制度も30年も経ちましたし、時間や能力のある人が多いので、1年ごとではなくて3年、5年ぐらいやってもらい、出てきても役はつかないよ、つけないよとなつたら、安心して出てこられる。(笑い)

い) こういう制度をそろそろ変えていって、みんなを引っ張り出していくようにしたらどうかと思つています。

稲村 私の夢といいますが、長期の費用のかわらない建て替え、これを第一に望みたいですね。社会的にいえば福祉の充実。老人ホームに入れ

るかどうかわからないですが、できるだけ長くブラウンハイムに住んでいられるよう健康であることです。管理組合、自治会への要望は、住民にいろいろな分野で能力のある方がおられますので、そういう方がどんどん出てきていただければと思います。逆にわれわれがやってきた活動のなかで目星がついていますので、なんとかそういう人を呼び込んで、新たな活性化を図っていければと思っています。

続木 高齢化社会の話ですが、子どもが小さければ若いお母さんを中心に自治会組織は活発に行きそうな気がします。自治会がやるのは限度がありますので、外郭団体を活性化するか、そういうところを育てていく、援助していく、それで活動を活発に出さければと思いますね。

●30周年を次の30年へのステップ として

原 30周年記念イベントとして皆さんに喜んでいただける企画を考えていくことです。同時に、規約に手をつけざるをえない問題が出てきていますので、当初、理事長をお受けするとき何とかなるだろうと思つて

いたのが、6カ月がすぎると何とかならなくなつてきました。(笑い)非常にプレッシャーを感じているというか、やらなければならぬのだけれど・・・自治会とか管理組合の仕事は面白くなつてきたということも事実です。私の数年前から持ち上がっているいろいろな宿題がピークに達してきていると思います。次期理事長には、結論が出ない部分はずいぶん引継いでもらいたいと思います。今後30年、どのように管理組合や自治会が運営されて、どう参加者を増やしていくか、道筋を出すために皆さんに知恵を出していただきたいと思っています。

三瀬 今後30年間をなんとか生き延びるのではなくて、この30周年を一つのステップとするために、高齢化社会に対する考え方は大きいと思います。さきほど司会から出されたエレベーター等の問題はすべて高齢化問題と絡んできます。ペットの問題も癒しというのと関連もありますし、理屈をつけられずすべてになります。私はこれから高齢化問題に取り組んでいきたいと思っています。

もう一つ、昔飲んでいるときいていたことが、新聞に出ていました。



福永 哲夫(司会)
(第7期・第28期管理組合理事長)

司会 本日はブラウンハイム30周年を記念するいいお話をうかがえました。ご出席の皆さんにはいろいろご予定のあったところと思いますが、ありがとうございました。

完成後の金沢地先埋立地（平成5年8月）



（横浜市港湾局提供）

金沢地先埋立前の航空写真（昭和38年12月）



（横浜市港湾局提供）

金沢地先埋立の計画から完成までの概要

1 金沢地先埋立事業の目的と計画

金沢地先埋立事業計画は、昭和40年2月横浜飛鳥田市長から発表された、横浜6大事業①都市部強化②金沢地先埋立③横浜港北ニュータウン建設④高速道路網建設⑤高速鉄道（地下鉄）建設⑥ベイブリッジ建設の一つである。金沢地先埋立事業は、中区、西区などの都市区やその周辺区にあった、公害など都市環境浄化上、移転が望ましい工場などの移転先用地を造成する。特に中小企業の近代化を促進し、工場と住宅地を一体的に開発する職住接近の街づくりを目指す位置づけられた。

金沢地先埋立事業の目的の第一は、都市再開発型の埋立地造成である。すなわち、都市部の商業・住宅地に混在する約二〇〇〇の工場のうち、立地が不適当な工場を埋立地に移転してもらい、公害防止、環境保全対策を積極的に取り入れた近代的な工場団地を建設する一方で、跡地の利用規制を伴う協定を締結し、都市部の再開発を進める。又埋立地の一部を内陸部では用地取得が困難な下水処理場・清掃工場・学校など

一二億から九二二億に事業年度を昭和43年度〜47年度の5カ年が、52年までの10カ年継続事業に変更された。

金沢地先埋立は昭和48年3月から同49年6月にかけて、並木一丁目、幸浦二丁目の1号地が竣工した。

並木二丁目、幸浦二丁目の2号地は昭和50年8月に竣工した。福浦一、二、三丁目の3号地及び海の公園地区は昭和52年9月から60年4月にかけて順次竣工した。

3 住宅地区の計画と完成

住宅地区の計画 住宅地に車を乗り入れをしない交通システムとし、工場地帯、湾岸道路に隣接しているため、公害の無い環境良好な住宅地をめざす。そのため住宅地周辺に環境保全上、相当の緑地を設ける。

住宅地造成の目的は、主として金沢地先埋立地に移転する企業の従業員用の住宅供給にあり、その構想を実現する土地利用計画が策定された。現在私たちが住む住宅用地は埋立地を南北に縦貫する東京湾岸道路及び国道357号の幹線道路の内陸部で、海側に計画した工場団地と平行に配置し、幹線道路沿いに設けた盛土と植栽による幅50M、延長4KMによって、道路や工場地帯と遮断されることになり、街づくりにあたっては、埋立造成から、土地利用、住宅の配置、造園までを一貫した計画、いわゆるアーバンデザイン手法が導入された。住宅計画の人口は、工場団地に移転が予定されていた大小二〇〇社の企業の従業員

の公共施設用地のために確保し、良好な市民生活に役立てるという計画である。

第二はこの埋立地を工場用地だけでなく、工場従業員や市民の為に住宅用地として利用することにより、職住接近の住宅用地を目指したことである。

第三は埋立地造成によって失われた海を市民に取り戻すことである。金沢の自然を生かした「海の公園」を始めとする新・旧水際線の公園緑地など、レクリエーション用地を確保し、市民に憩いの場を提供することであった。

2 事業計画の変更と埋立地の造成

昭和43年（一九六八）の事業計画段階では、六六〇ヘクタールの埋立地の竣工を昭和61年（一九八六）4月10日に予定していたが、約18年にわたる長期間の事業は当然社会・経済の変化を受けざるを得ない。昭和48年のオイルショックに端を発した不況、インフレーションの昂進に公害問題の深刻化と環境保全への世論の高まり等の影響を受けて、金沢地先埋立事業は2度の事業計画の変更を余儀なくされた。事業費を約四

及び公共事業移転代替地、その他一般公募を対象に居住人口三〇〇〇〇人を想定し、約一〇〇〇〇戸の計画戸数を設定した。

住宅用地の面積は、周辺の緑地、幹線道路を除き、約172ヘクタールを予定し、この住宅区域の周囲には住宅地内への通過車輛を排除する目的で、ループ状に幅員20Mの道路をめぐらし、歩行者用道路、広場、児童公園等からなる安全で快適な歩行空間を中心に、周辺部に中高層、中心部は低層住宅、これに小、中学校や幼稚園、さらに商業施設などを配置し、生活や諸活動に快適で魅力的な低空間を構成するよう計画された。

金沢地先住宅地の中で、唯一既存の町と接している場所、センター地区がある。センター地区には銀行、郵便局、医療施設に商業施設など、住民の生活に必要な施設が集積している。この中心は富岡八幡宮の森と旧富岡漁港の漁船を埋立工事着手に当たり、一時的に収容した舟溜り水面なのである。これを象徴するのが水際線に設けられた階段状の護岸である。八幡宮の参道が漁港の水面まで延び、ここで新旧住民が集い融合する。

【緑地計画の考え方】

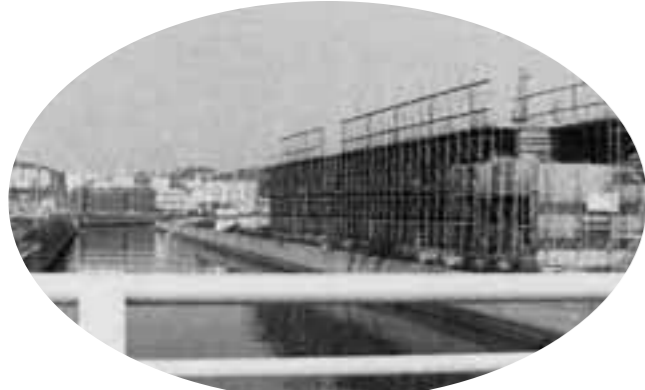
旧海岸線の景観保持のため、重点的に富岡八幡宮と長浜検疫所前に公園緑地を配置する。なお、富岡と柴町を結ぶサイクリングロードを設け、緑地帯を小柴貯油施設の前面、旧富岡海水浴場、富岡の西浜、東浜等の埋立地に良好な生活環境を造る配慮を払っている。



昭和53年 舟溜りから見た入居間もない頃のブラウンハイム



昭和48年 埋め立て造成中の富岡沖 (富岡シーサイドコーポ付近から富岡八幡宮方面を望む)



昭和54年 並木橋から見た建設中の並木第二小学校



昭和56年 神輿の巡行 (ブラウンハイム夏祭り)



昭和61年 駐車場増設工事完了



昭和56年 金沢シーサイドタウン祭り (自治会のブース)



Column

モノレール開通

17期自治会長 左田野悦子

モノレールの開通は、家族の期待でした。息子も娘も家庭を持ち、家から離れていたものの、実家に立ち寄った時、話題の一つでした。

目の前の工事の進み具合を写真など撮り、楽しみにしていた夫の待望のモノレールの開通は、病のための入院中となりました。僅か2ヶ月の入院療養で平成元年7月

に他界してしまいました。モノレールの開通を楽しみにしていた父親を想い、息子と甥子二人で葬儀の後、骨箱を抱きモノレールに乗ってきたことを思い出されます。特に主人亡き後のブラウンハイムの皆様の支えには、心から感謝しています。

モノレール、高速道路と便利に開発されたブラウンハイムを、老後は自分たちと一緒にと言ってくれる息子家族と、退職後に新しい地で始めています。

知らない土地でしたが、区の傾聴ボランティア養成講座終了後、新しい傾聴ボランティアグループ「ダンボの会」を立ち上げ、ボランティア活動と共に、荒川区社会福祉協議会の地域福祉権利擁護事業の生活支援員の仕事を受けて、月半分は活動日となり、趣味のビーズ織に家での空き時間を使い、自分の時間を有意義に過ごせる生活が送られています。

(平成12年8月荒川区へ転居)

ブラウンハイム関連

- 昭和46 (1971) 金沢地先埋立事業着工 (2月)
- 昭和53 ブラウンハイム竣工 204戸 (労住協) 管理組合設立 (9月) 自治会発足 (10月)
- 昭和54 自治会広報誌「赤れんが」発行をはじめ 富岡東中学校開校 金沢シーサイドタウン連合自治会発足
- 昭和56 並木第二小学校開校 金沢シーサイドタウン祭り開催
- 昭和57 メンテナンス委員会発足 (10月)
- 昭和58
- 昭和61 駐車場83台増設 駐車場共有地内建設、駐輪場改造
- 昭和62

社会のできごと

●新東京国際空港 (成田) 開港 (5/20)



昭和53年 竣工間近のブラウンハイム



●東京ディズニーランド開園 (4/15)



昭和53年 上空から見た埋め立て地 (真中よりやや右にブラウンハイムが見える) (横浜市港湾局提供)

●国鉄分割民営化 JRスタート (4/1)



昭和61年 地鎮祭 (駐車場建設)

昭和61年 駐車場建設 工事開始 (83台増設)



昭和54年「赤れんが」創刊号発刊



昭和54年 富岡東中学校開校

Column

祝 ブラウンハイム 30周年記念

元・並木第二小学校 6代校長 山野博司

私が並二小に着任したのは、平成8年4月です。4年後、平成12年に創立20周年を迎えました。

ブラウンハイム竣工は昭和53年7月、並二小の開校は55年4月です。当初のブラウンハイム入居者は、並二小 (現・中央小) の建設状況をずっと見守ってくれました。開校時の児童数は382名、ブラウンハイムの子供たちでした。初代校長の大塚常男先生の「地域の特色

を生かした」学校づくりは、保護者・住民の協力を得てそれは活気に溢れたものだったそうです。開校5年で、児童数も1,000名を超えて隆盛期を迎えました。その後街もできあがり、次第に成熟するにつれて児童数は逆に減りはじめました。

私が着任した時には、開校時と全く同じ382名となっていました。違うのは、児童数は減るということです。その年の運動会でのことです。来賓・敬老席のテント内は、参加者も少なく淋しいものでした。その中で「昔は活気があったね。街中の人が集まって、運動場は人が溢れていたね。」と、いう声が

聞こえました。「そうだ、元気溢れる学校にしなければ。それには、学校を街中の人が集まる場にしよう。」と、思いました。その後、学校評議会の前身にあたる「並二会」が結成されて、子どもたちの日常の学習支援はもちろん、運動会、学習発表会、作品展、音楽会など、街ぐるみの活動となり、小規模校とは言えない絶大な元気を与えてくれました。このエネルギーは、きっと現・並木中央小にも引き継がれていることと思います。

この活動の中心にブラウンハイムの方々も多く参加して頂いており、今でも感謝しております。



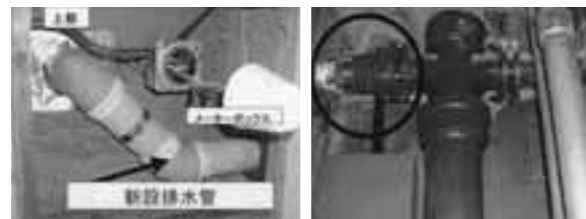
平成5年 外壁等改修・屋上防水工事に伴い足場が設置された



平成18年 敷地内の舗装改修工事



平成6年 神輿保存会が結成され子供神輿も完成



平成18年 給排水給湯設備改修工事

Column

ブラウンハイム 30周年にあたって

(株)勤住サービス(現社名日本建物管理株) 代表取締役専務 荻原昌義

昭和53年7月ブラウンハイム管理組合が発足され、この度30周年を迎えられ管理組合並びに入居者の皆様へ、心よりお祝い申し上げます。

当時の募集案内書を改めて見ると、この30年間で新線が出来、周辺に空地が見あたらぬ程大変貌し、便利で文化的な地域となりました。

ブラウンハイム管理組合の30

年間の活動と事業量は、他の追随を許さない程ボリュームのあるもので、修繕計画に基づき実施される大中小の修繕の結果、他に誇れる立派な住宅となりました。

ブラウンハイムの住環境を充分なものに整える為に、この30年間で多くの諸工事の成功実績は、入念な企画や補修順位を決めての実行を歴代の管理組合理事長並びに各理事、各委員会の方々、またその都度各事案に協力された関係住民の皆様の努力によるものと同慶の至りであります。またこれにより住民の信用と信頼を博していることは、常に敬服しているところ

です。

ブラウンハイム管理組合がこれからも、ひきつづき常に時代の変化に即する体制をとられ、入居者の住生活の動向を配慮し活動されることを念願し、併せて輝かしいブラウンハイム30周年を契機に益々発展されることを祈念いたします。

弊社はブラウンハイム管理組合様から御拜命をいただき、万全の体制で管理業務を担当させていただきたく存じておりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。平素のお礼を申し上げ、30周年記念のお祝いの挨拶とさせていただきます。

ブラウンハイム関連

- 昭和63** 4自治会合同大運動会開催 2000名参加 (さざなみ、センター、第3住宅、ブラウン) 海の公園オープン
- 平成元 (1989)** 金沢シーサイドライン開業
- 平成3** 駐車場17台増設 横浜市大病院開院
- 平成4** 八景島オープン
- 平成5** 外壁等改修工事及び屋上防水工事実施
- 平成6** 神輿保存会結成
- 平成8** 契約駐車場11台分増設 (合計163台分の駐車スペース) 横浜ベイサイドマリーナ第1期オープン
- 平成9** 長浜野口記念公園オープン
- 平成11** 階段室防水工事実施
- 平成12** _____
- 平成14** 外壁等改修工事、電気容量増加工事実施
- 平成17** 勤住協駐車場購入 来客者用駐車場9台分設置
- 平成18** 給排水給湯設備改修工事実施 並木中央小学校誕生 (並木第二小、第三小を統合) 舗装改修工事実施
- 平成19** 光回線導入
- 平成20** ブラウンハイム30周年記念式典開催 ブラウンハイム30周年記念誌発行

社会のできごと

- 青函トンネル開通 世界最長54Km (3/13)
- 昭和天皇崩御 87歳 (昭和64年1月7日)
- 介護保険制度スタート (4/1)
- NY世界貿易センタービルに旅客機が激突 (9/11)
- 郵政民営化総選挙 (9/11)
- 道路公団民営化 (10/1)



昭和63年 4自治会合同大運動会開催



パン食い競争 (4自治会合同大運動会)



食べられないよ! みんな頑張りました

Column

心のふるさととは、いまも 金沢区並木1丁目番外地 元メンテナンス委員 住谷一男

ブラウンハイム竣工30周年、万感の想いでお慶び申し上げます。 孟母三遷の故事に習い、我が家も環境豊かな理想郷ブラウンハイムに18年間暮らしました。おかげさまで子供たちも団地の多くの方々の暖かい愛情の下で育ち、すでに彼らの夢に向けて巣立ちました。 顧みて、時宜を得た管理組合の設備施設ハード管理と地域自治会の人脈ソフト対応の眼が広く行き届いた稀有な団地と思います。

現在、我が家は港南区に居住していますが、介護生活7年の体験を踏まえ、今や居住者高齢化の波の中で都市が機能不全の限界団地や集落に陥らない新たな取組みが必要な時代と実感しています。 どの地域でも対応不足で高齢者が集う交歓場所の確保やより低層階への便宜居住の促進等「本格的な高齢者コミュニティの復権」と「地域居住価値の向上」が急務という認識に至っています。 私たちが入居当時に登場したサザンオールスターズは今も若者に愛され、優れた歌唱力でステージ活動を30年間続けています。

彼らも年齢を重ねましたが、何が人々の心をひきつけるのでしょうか。老いて熱い情熱、枯れない夢、支えたファンへの感謝と連帯です。 30周年の節目で、私たちも従来の資産価値の維持向上から資産見直し/組合せ調整など限りなき地域価値向上へ熱い連帯が必要です。 分譲住宅に管理組合定款の制約はありますが、個別管理組合の枠を越えた地域高齢者むけの夢実現力は 私たちにかかっています。 ブラウンハイム・オールスターズのみなさま、お元気で! (港南区に平成8年に転居)



出店コーナー ⑤

資源循環局金沢事務所のごみ分別コーナー、ポップコーンの無料サービス、NPO法人による防災備品・沖縄物産品の展示即売、焼トウモロコシ、綿菓子、フラクフルト、おにぎり、飲み物、カキ氷の販売、すいか割り、コリントゲーム、ヨーヨー釣り等のお遊びコーナー等盛り沢山の出店が来場者を楽しませてくれたことと思います。

最後のビンゴゲームでは30周年にちなんで1期賞から30期賞まで設けられました。

約300名の参加者があり、盛大でした。



大道芸 ⑥

集会所横のステージで大道芸人3人により、ガマの油売り、皿回し、マジックバルーン等のショーが披露された。



少子高齢化はブラウンハイムでも進んでおり、夏祭りも様変わりしていくものと思われる。又建物の老朽化も進み、建て替えについても具体的に検討しなければならない時期も近づいてきている。

この30周年を契機とし、管理組合や自治会では、これらの問題に取り組んでいくことが今後の大きな課題である。

1 記念植樹

5月17日（土）午前10時より紅梅、白梅をそれぞれ1本ずつ集会所前のプレイロットに植樹しました。



2 記念式典

30周年記念行事は7月26日（土）午前10時より式典を皮切りに盛大に行われました。

来場者は招待客27名、元居住者10名、居住者及び関係者は約300名でした。

取引先6社、ブラウンハイム内の2団体、3名の方々に感謝状が贈呈されました。



3 除幕式

数年前まで集会所前にあった鋼鉄製モニュメントの台座に埋め込まれていた「ブラウンハイム」の銘板を少し離れた並木道に面するレンガ製花壇の上に新たに設置した。

外部から来た人に少しでもブラウンハイムをわかりやすくした。



4 神輿・山車の巡行

並木地区の団地の中では神輿を保有しているところは少ないと思われる。

ブラウンハイムには神輿保存会の方々の手作りによる大小各一基の神輿と山車がある。近年担ぎ手が少なく、山車と一基の神輿というパターンであったが、今回は全てを繰り出し、ブラウンハイム内を練り歩いた。



30周年記念行事に寄せて

便利帖

【ショッピング】

| | |
|----------------|----------|
| 東急ストア金沢シーサイド店 | 773-0109 |
| そうてつローゼン並木店 | 774-1401 |
| ジャスコ金沢シーサイド店 | 784-0005 |
| ニューダイクマ横浜金沢店 | 772-8279 |
| ヤマダ電機横浜金沢店 | 772-8653 |
| 肉のハナマサ | 775-4081 |
| イトーヨーカドー能見台店 | 781-8111 |
| コジマ(株)ニュー新杉田店 | 776-3301 |
| トンカチ | 784-7211 |
| ロイヤルホームセンター | 833-5156 |
| ダイエー(株)金沢八景店 | 788-0055 |
| ユニー(株)金沢文庫店 | 783-0001 |
| 京急ハウツ文庫サニーマート店 | 785-3011 |
| トイザラス磯子店 | 752-4622 |
| コストコ金沢シーサイド店 | 791-6001 |
| ダイソーピアレ横浜店 | 787-5117 |
| とうきゅうキャン・ドウ | 772-7261 |

【新聞販売所】

| | |
|-------------------|--------------|
| ASA並木町 | 774-6830 |
| (朝日・神奈川・日経・産経・東京) | |
| YSC並木(読売・神奈川) | 773-1564 |
| | 0120-07-8555 |
| 毎日新聞富岡専売所(毎日・神奈川) | 772-3548 |

【交通】

| | |
|---------------|---------------|
| JR新杉田駅 | 772-1274 |
| | 050-2016-1600 |
| 京急富岡駅 | 771-6724 |
| シーサイドライン新杉田駅 | 776-1217 |
| シーサイドライン並木中央駅 | 786-5020 |
| 文庫タクシー | 701-6555 |

【ホテル】

| | |
|------------------|----------|
| 横浜テクノタワーホテルファミール | 788-8000 |
|------------------|----------|

【老人福祉・養護 施設】

| | |
|--------------------|----------|
| 若草ホーム | 784-6900 |
| 金沢美浜ホーム | 788-1600 |
| 金沢ショートステイセンター(能見台) | 790-1620 |
| 能見台パトリア | 790-5733 |
| ふるさと(柴町) | 788-8911 |
| 地域活動ホームシーサイド | 775-3841 |
| 聖星学園 | 775-3311 |

【保育園・幼稚園・学校】

| | |
|-------------|----------|
| わらべシーサイド保育園 | 778-1141 |
| 並木保育園 | 774-0345 |
| 並木第二保育園 | 771-0556 |
| 並木第三保育園 | 784-6168 |
| 金沢ふたば保育園 | 771-4102 |
| あけぼの幼稚園 | 774-2882 |
| こすもす幼稚園 | 773-9501 |
| 並木幼稚園 | 772-1501 |
| フレンド幼稚園 | 783-8600 |
| 並木第一小学校 | 774-0521 |
| 並木中央小学校 | 771-5102 |
| 並木第四小学校 | 701-3506 |
| 富岡東中学校 | 771-0717 |
| 並木中学校 | 783-5805 |
| 金沢総合高等学校 | 773-6771 |
| 三春学園 | 771-2258 |

【放送局】

| | |
|-------------|--------------|
| JCNよこはま | 0120-4580-35 |
| NHK横浜放送局営業部 | 212-2661 |
| NHKコールセンター | 0570-077-077 |

【電気・ガス・水道】

| | |
|-------------------------|--------------|
| 東京電力神奈川カスタマーセンター(停電・故障) | 0120-99-5772 |
| 東京電力神奈川カスタマーセンター(引越) | 0120-99-5771 |
| 東京ガス神奈川お客様センター | 984-1100 |
| | 0570-002211 |

| | |
|------------------------|----------|
| ガスもれ時連絡先(24時間受付) | 945-1160 |
| エネスタ富岡(ガス器具修理) | 783-3148 |
| 水道局金沢営業所 | 782-2351 |
| 京急サービス金沢営業所(水道検針・料金督促) | 847-6262 |

【管理事務所】

| | |
|-------------------|----------|
| ブラウンハイム管理事務所(集会所) | 771-5999 |
|-------------------|----------|

【文化・プレイスポット】

| | |
|----------------|----------|
| 金沢公会堂 | 788-7890 |
| 長浜ホール | 782-7371 |
| 金沢スポーツセンター | 785-3000 |
| 金沢動物園 | 783-9109 |
| 富岡八幡公園こどもログハウス | 775-1601 |
| 横浜・八景島シーパラダイス | 788-8888 |
| 柴シーサイドファーム | 785-6844 |
| 県立金沢文庫 | 701-9096 |
| リネツ金沢 | 789-2181 |
| 富岡八幡公園プール | 774-2379 |
| シーサイド・スパ八景島 | 791-3575 |
| 横浜ベイサイドマリーナ | 776-7590 |
| 海の公園 | 701-3200 |
| 横浜金沢観光協会 | 788-7802 |

【医療・病院】

| | |
|--------------------|----------|
| 救急医療情報センター | 201-1199 |
| 小児救急電話相談 | 201-1174 |
| 地域医療連携センター | 201-8712 |
| 中毒情報相談室 | 262-4199 |
| 精神科救急医療情報センター | 261-7070 |
| 桜木町夜間急病センター(名称変更) | 212-3535 |
| 歯科・保健医療センター(休日・夜間) | 201-7737 |
| 金沢区休日急患診療所 | 782-8785 |
| 横浜市大医学部付属病院 | 787-2800 |
| 横浜南共済病院 | 782-2101 |
| 神奈川県立循環器呼吸センター | 701-9581 |
| 金沢病院 | 781-2611 |
| 済生会若草病院 | 781-8811 |
| 篠田医院 | 781-7777 |
| 優慶医院 | 783-2220 |
| 林内科眼科クリニック | 785-2100 |
| 並木クリニック | 788-0888 |
| 江原小児科医院 | 773-8533 |
| かとう整形外科クリニック | 773-7311 |
| 富岡内科クリニック | 773-6600 |
| 長倉医院 | 771-2500 |
| シーサイドクリニック・土光診療所 | 781-4080 |
| いとう内科クリニック | 771-2277 |
| ケイジン歯科医院 | 774-0767 |
| 小谷クリニック | 781-7889 |
| ししくら歯科医院 | 783-6111 |
| ししくら歯科医院並木診療所 | 788-0013 |
| 玉井歯科医院 | 784-8722 |
| 並木歯科医院 | 773-3606 |
| ピアレ歯科 | 787-5306 |
| 松井歯科医院 | 782-6606 |
| おいかわ眼科 | 784-8558 |
| 富岡耳鼻科・眼科 | 772-2330 |
| シーサイド鍼灸整骨院 | 784-8433 |
| 並木一丁目はりきゅう整骨院 | 774-6809 |
| 横浜みなと整骨院 | 788-1162 |
| 一(はじめ)接骨院富岡 | 773-1007 |

【薬局】

| | |
|-----------------|----------|
| 平安堂薬局並木店 | 778-7320 |
| ハックドラック金沢シーサイド店 | 774-7853 |
| ハックドラックピアレヨコハマ店 | 790-9589 |
| マツモトキヨシ金沢シーサイド店 | 786-5561 |
| なぎさ薬局 | 785-5728 |
| 並木薬局 | 788-5541 |
| ピアレ薬局 | 787-5111 |

【公共機関】

| | |
|-------------------------------|--------------|
| 金沢区役所 | 788-7878 |
| 福祉保険の総合相談(福祉保健センター) | 788-7773 |
| 高齢者支援担当(福祉保健センター) | 788-7776 |
| 介護保険担当(福祉保健センター) | 788-7868 |
| 資源循環局金沢事務所 | 781-3375 |
| 粗大ゴミ受付センター(家庭・携帯電話) | 0570-045-190 |
| 粗大ゴミ受付センター(IP電話・光電話) | 330-5109 |
| 金沢土木事務所 | 781-2511 |
| 横浜市役所 | 671-2121 |
| 横浜市コールセンター | 664-2525 |
| 横浜市シルバー人材センター磯子事務所 | 832-3511 |
| 南部公園緑地事務所 | 831-8484 |
| 南部農政事務所 | 866-8492 |
| 神奈川県庁 | 210-1111 |
| 自動車運転免許試験場 | 365-3111 |
| 横浜南税務署 | 789-3731 |
| 横浜地方法務局金沢出張所 | 782-4993 |
| 南社会保険事務所 | 742-5511 |
| ハローワーク横浜南 | 788-8609 |
| 並木証明書発行コーナー(火・水・木13:00~16:00) | 775-4022 |
| 神奈川県パスポートセンター | 671-7201 |

【警察・消防】

| | |
|-------------|----------|
| 金沢警察署 | 782-0110 |
| 金沢消防署 | 781-0119 |
| 幸浦消防出張所 | 785-0119 |
| 消防テレフォンニュース | 334-0119 |

【金融機関】

| | |
|------------------|----------|
| 横浜金沢郵便局 | 782-0401 |
| 横浜南部市場内郵便局 | 779-2255 |
| 横浜並木郵便局 | 773-1301 |
| 横浜金沢シーサイドタウン郵便局 | 788-8517 |
| 横浜金沢振興センター郵便局 | 782-4779 |
| 横浜銀行金沢シーサイド支店 | 772-1621 |
| 横浜銀行金沢産業振興センター支店 | 783-3117 |
| 横浜銀行南部市場支店 | 779-2551 |
| 横浜信用金庫福浦支店 | 781-1711 |
| 中央労働金庫杉田支店 | 774-1212 |

【地区センター・コミュニティハウス・ケアプラザ】

| | |
|--------------|----------|
| 富岡並木地区センター | 775-3692 |
| 並木コミュニティハウス | 783-7814 |
| 並木北コミュニティハウス | 774-3405 |
| 並木地域ケアプラザ | 775-0707 |
| 富岡東地域ケアプラザ | 776-2030 |
| 能見台地域ケアプラザ | 787-0991 |



ブラウンハイム旧モニュメント

【編集後記】

一口に30年といっても世の中の移り変わりの激しさに今回の記念誌の編集を通じて改めて驚かされました。

30年間に120所帯、ブラウンハイム全体の60%の方々が移転されていました。

又、平均年齢31歳前後で入居された方が定年を迎え、61歳前後になっているように高齢化が進んでいます。

ブラウンハイム竣工時の昭和53年の周囲は樹木もほとんど無く、砂漠の様でした。

30年経った今、樹木も生い茂り非常に住み易い街になっているのが嘘のようです。

これからのブラウンハイムを御祭りを初めとする様々なイベントを通して、協力し合えた力、入居者のつながりを大切に住み易い場所にして行きたいと思います。

この記念誌がこれからの30年に向けてのブラウンハイムの進むべき道を探る手掛りになり、少しでもお役に立つことが出来れば望外の喜びです。

時間の制約もあり、多くの不備のあることを了とせられ、資料提供へのご協力に感謝すると共に、住民相互の益々のご健勝をお祈りいたします。

(福永哲夫記)

ブラウンハイム30周年記念誌編集委員会

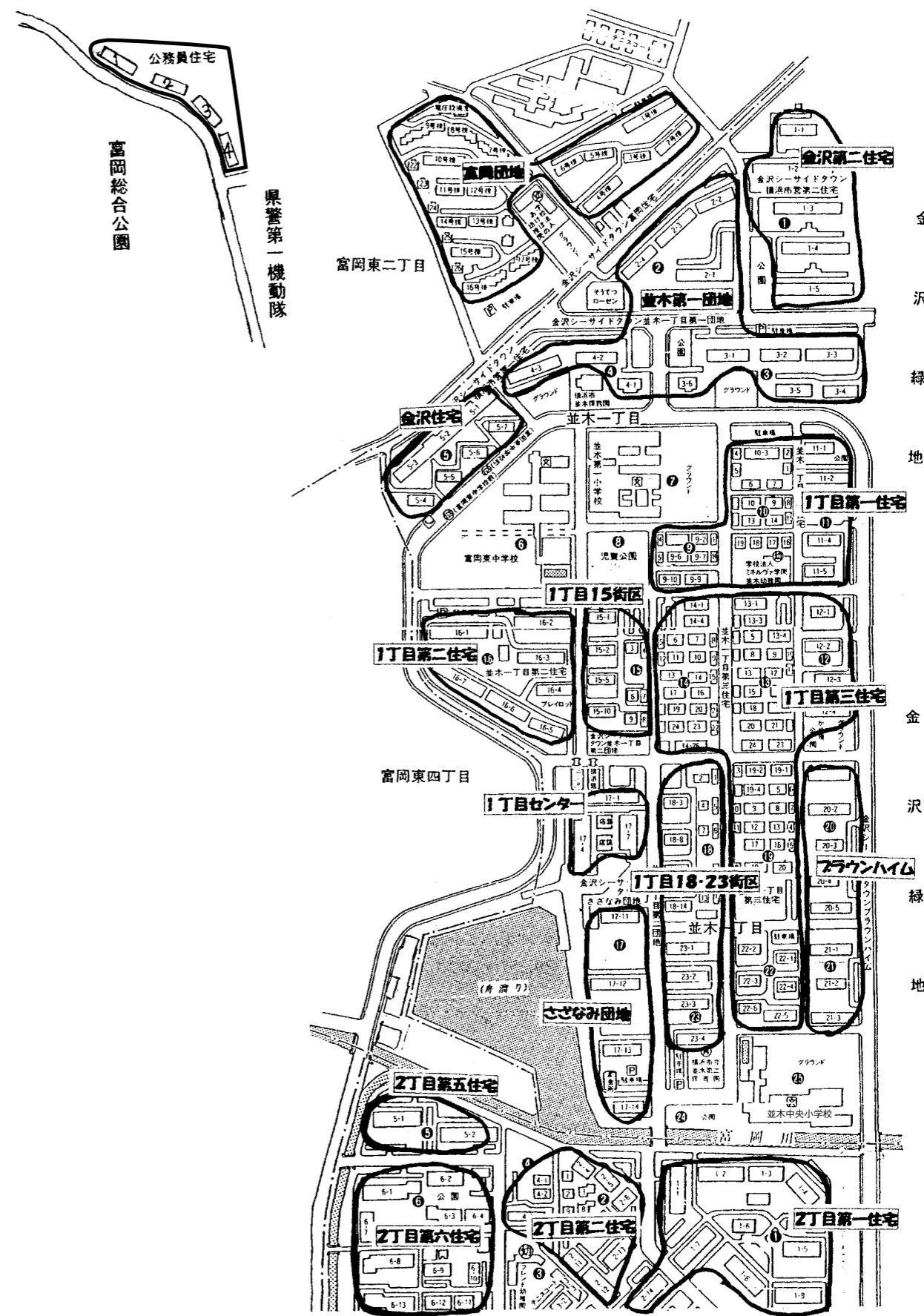
- 委員長 福永 哲夫
- 委員 木内 志保子
- 委員 境野 敏弘
- 委員 三瀬 光一
- オブザーバー 原 拓勇
- オブザーバー 続木 暉康

ブラウンハイム30周年記念誌

平成20年9月吉日 発行

ブラウンハイム管理組合

〒236-0005 横浜市金沢区並木1丁目21
TEL.045-771-5999
FAX.045-771-5999



金
沢
緑
地

金
沢
緑
地